



2025年12月12日

各 位

会社名 株式会社ジェイ・エス・ビー
代表者名 代表取締役社長 森 高広
(コード番号: 3480 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経営財務本部長 大仲 賢一
(TEL. 075-341-2728)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2025年1月23日に公表しました、2025年10月期通期業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年10月期 通期連結業績予想と実績の差異（2024年11月1日～2025年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 75,520	百万円 8,508	百万円 8,152	百万円 5,476	円 銭 259.74
実 績 値 (B)	76,045	7,658	7,347	5,151	244.33
増 減 額 (B-A)	524	△849	△804	△325	-
増 減 率 (%)	0.7	△10.0	△9.9	△5.9	-
(ご参考)前期実績 2024年10月期	69,529	8,106	7,886	7,452	354.76

2. 差異の理由

当連結会計年度において、売上高については当初計画を上回る水準で推移いたしました。

一方、大阪国税局による税務調査において、主に当社グループ間取引における消費税の課税区分判断に対して指摘を受けております。

現時点においては大阪国税局から正式な通知を受けておりませんが、見解の相違はあるものの改善すべき点もあることから、当該指摘を受け入れ、過年度にかかる追徴金額及び附帯税相当額として現時点で合理的に見積ることが可能であると判断できる金額を当連結会計年度の販売費及び一般管理費(997百万円)に計上するとともに、これに伴う過年度の所得金額の変動による還付見込み額を法人税等へ計上しました。【影響額①: △682 百万円 (消費税: △997 百万円、法人税 (還付見込み): +314 百万円)】

また、その他の費用面におきまして、2025年2月に従業員の士気向上を目的とした一時金の支給【影響額②: △237 百万円 (売上原価: △189 百万円、販売費及び一般管理費: △47 百万円)】による人件費の追加計上に加え、前年に発覚した経費不正支出事案にかかる特別調査費用について、当連結会計年度

における発生分を営業外費用に計上しました。【影響額③：△115 百万円】

以上のとおり、当連結会計年度では、経常的ではない一時的な費用が複合的に発生し、各区分利益に影響を与え、当初想定していた利益水準を下回ることとなりました。

(ご参考① 一時的費用の区分ごとの影響額)

(単位：百万円)

損益区分	損益影響額
売上高	—
売上原価	189
売上総利益	△189
販売費及び一般管理費	1,044
営業利益	△1,234
営業外収益	—
営業外費用	115
経常利益	△1,349
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期純利益	△1,346
法人税等(※)	△419
親会社株主に帰属する当期純利益	△929

※ 前述の影響額②及び③に対して簡易的に法人税率30%を乗じ(△105百万円)法人税等の額を調整おります。

(ご参考② 一時的費用を除いた場合の連結業績)

2025年10月期 通期連結業績（調整後）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 75,520	百万円 8,508	百万円 8,152	百万円 5,476	円 銭 259.74
実 績 値 (B)	76,045	8,893	8,697	6,080	288.50
増 減 額 (B - A)	524	384	544	604	-
増 減 率 (%)	0.7	4.5	6.7	11.0	-
(ご参考)前期実績 2024年10月期	69,529	8,106	7,886	7,452	354.76

以上